

シンポジウム

看護職の役割拡大が進む中で 考える看護の哲学

演 者

小林 美和 氏

多治見市民病院 看護師長

布目 雅博 氏

名古屋鉄道健康保険組合 名鉄病院
診療看護師 (NP)

中嶋 裕 氏

公益社団法人地域医療振興協会 とくち地域医療センター センター長／
山口市徳地診療所 管理者

家高 洋 氏

東北医科薬科大学教養教育センター 哲学教室 教授

会長からのご案内

看護師特定行為研修制度の創設や NP 教育課程修了者の活躍などにより、看護職の役割拡大が進み、タスクシフト／タスクシェアが推進されています。このような変化の中で、いわゆる「診療の補助行為」に看護の哲学はどのように存在し得るのでしょうか。

本シンポジウムでは、「看護職の役割拡大が進む中で考える看護の哲学」をテーマに、看護管理者、診療看護師 (NP)、診療看護師 (NP) と協働する医師、さらに哲学者それぞれの立場からご講演いただきます。

日々の実践から見えてくる看護の哲学に加え、歴史的背景や学問としての特性について多角的に考察し、看護職の役割拡大が進む時代における看護の本質について、参加者の皆様とともに議論を深めたいと考えています。

日 時

2026 年

10 月 3 日 (土) (現地 + Web+ オンデマンド)

15:00 ~ 16:30

場 所

愛知医科大学

学術集会テーマ

**看護学を基盤とした
高度実践看護の展望**

会長

黒澤 昌洋

愛知医科大学看護学部 教授
診療看護師 (NP)

参加登録受付中



参加登録期間

2026 年 4 月 1 日 (水) ~ 12 月 28 日 (月)

オンデマンド配信期間

2026 年 10 月 3 日 (土) ~ 12 月 31 日 (木)

参加費

会員: 5,000 円 / 非会員: 6,000 円
学生 (大学院生は除く.): 無料

お問い合わせ先

学術集会事務局
愛知医科大学看護学部 臨床実践看護学領域
E-mail: jsnhc2026@aichi-med-u.ac.jp